

スーツだと固すぎるのか？TシャツはOKなのか？靴は？帽子は？アクセサリは？
今も模索中の方がいるかもしれません。

簡単にいうと、私たち協力隊の服装の目安は「公務員としてふさわしい格好か」です。
そういう目で見回したとき、役場（職場）の職員はどんな格好をしているでしょう？
基本的にはスーツや襟付きのシャツ、役場指定のポロシャツなどを着ていますよね。
作業現場に行く職員は作業着の方もいます。

短パンの人も、屋内で帽子をかぶっている人も、派手なプリントTシャツを着ている人もいませんよね。

協力隊もこれに則ることになります。

なかには「私たちは協力隊であって、公務員ではないはず！」「好きな格好をして何が悪い」という方が稀にいますので確認しておきますが、協力隊は原則的に会計年度任用職員という公務員です。

服務規定も職員とかわりません。自分の好きな格好ではなく、公務として市民と接しても違和感を持たれない服装をすべき立場なのです。（一部、協力隊と役場の間に雇用関係がない場合もありますが、税金から報酬をもらっている立場であることには変わりません）

職員さんと話していると「協力隊の服装は注意しにくい」という本音が聞こえます。

「せっかく移住してきてくれたのだから大目に見てあげたい」という優しさだと思います。

あるいは「ハラスメントだと思われそう」という躊躇もあります。

しかし、服装に違和感を持たれたただけのことで、地域の中で信頼得るのに時間がかかり、損をするのは協力隊自身かもしれません。

「えー、ですから、服装がゆるみがちな夏に向けて、服装や頭髪、髭などもルールをお互いに確認し・・・」と、なんだか、高校の教頭先生みたいな口ぶりで嫌ですね(笑)

そんな難しいことはありません。

お休みの日は好きな格好をして、プライベートを楽しめば良いですし、その方が地域の人からも、オン・オフの違いがはっきりわかって、ストレスも減り楽ですよ！

■西塔大海（さいとうもとみ）

合作株式会社取締役 さとのば大学講師

1984年山形県生まれ。2013年、福岡県上毛町に移住し地域おこし協力隊として活動。その後、地域おこし協力隊の支援・制度設計の専門家として、全道各地の自治体で導入・活動・起業の支援に携わる。

また、各地域での移住促進・空き家活用・人材育成などの地域プロジェクトマネージャーの経験を活かし、提言やアドバイザーを努めている。

○さとのば大学 <https://satonova.org/prospective/>

○西塔さん Facebook <https://www.facebook.com/saito.motomi>

【3】留萌管内協力隊ネットワーク(以下、留協NW)の総会を開催しました！

留萌市地域おこし協力隊で、留協NW代表の佐伯結さんより、NWの活動報告がありましたので、皆さまにお知らせいたします！

留協 NW では4月28日（金）に総会を実施しました。

今回は初の試みとして各市町村の協力隊担当職員を招待し、各隊員の活動報告・ネットワーク事業報告・パネルディスカッションととても充実した会となりました。

留協 NW として初の道外遠征「大阪梅田での留萌管内 PR 企画」で得られた成果や今後のネットワーク事業計画について前向きな報告ができ、より一層管内連携のビジョンが明確になったほか、パネルディスカッションでは市町村職員・振興局職員とともに予算・活動範囲・関係性…それぞれの考えを赤裸々にぶつけ合うことができました。

全道各地でネットワーク活動が盛んになり始めていますので、私たちも勢いに負けずに、そして留協 NW らしく活動していければと思います。

Instagramアカウントもできましたのでぜひチェックしてください！

https://www.instagram.com/chikiokoshi_rumoi8/

【4】留萌市出身アーティストのトリビュート企画「吉村秀樹会」を開催しました！

留萌市地域おこし協力隊の佐伯結さんより、活動報告がありましたので、皆さまにお知らせいたします！

世界のミュージシャンに愛され、その独創性から唯一無二と称賛されるバンド・bloodthirsty butchers のフロントマンである吉村秀樹氏の死から10年という節目の2023年。

出身地である留萌に彼を愛する人々の思いを集めたい、出身アーティストを通して新たな地域の見え方を提案したい、コアな関係・交流人口の創出につなげたい、という様々な思いから実現に至りました。

5/21にはバンドのドキュメンタリー映画「kocorono」の上映と、メンバーの射守矢雄氏(留萌出身)と小松正宏氏(留萌出身)、映画監督の川口潤氏、学生時代から交流があった掟ポルシェ氏(留萌出身)の4名のトークセッションを、市内「ナイトサロン太陽」さんで実施しました。

市内外からたくさんの方にお申込みいただき会場は満席、涙ありのとても熱いイベントになりました。

また5/18-28、市内「スリースペース yukyuk」さんでは「bloodthirstybutchers 展」を開催しました。

写真家菊池茂夫氏、画家奈良美智氏、札幌在住の作家「reguregu」氏の関連作品に加え、生前交友のあったミュージシャン・関係者の方々から集めたメッセージ、過去フライヤーやギターなど、bloodthirsty butchers を知らなくても、熱い思いや葛藤を胸に抱えたことがある方なら、心に響くものがあるイベントとなったと思います。

【5】【はまなす財団】2023年度「地域づくり活動発掘・支援事業」支援先団体募集のお知らせ

はまなす財団より、北海道において地域主体で取り組んでいる民間団体等の地域づくり活動を発掘・支援することを目的とした、「地域づくり活動発掘・支援事業」の支援先団体の募集しについてご案内がありましたので、お知らせいたします。

詳細は当財団ホームページをご覧ください。

<https://www.hamanasu.or.jp/info/details/2023.html>

■募集期間

2023年5月15日(月)～6月20日(火) 必着

■支援対象者

北海道内において、地域づくりに資する活動を行う下記の団体

※(1)と(2)の併用は不可です。

※同一団体による複数の申請は不可です(1団体1申請のみ)。

(1) 通常枠

社団法人、特定非営利活動法人、農地所有適格法人、商工会、観光協会などの民間団体等(複数の団体・個人等により構成された、法人格のない任意団体を含む)

(2) 地域農業連携枠

農業者等が組織する団体(法人格のない任意団体を含む)

※構成員に農業者2戸以上が含まれていること。農地所有適格法人1社は農業者1戸とみなします。

■支援内容・期間

原則として支援開始日から2年間(最長3年間)とし、下記の支援を行います。

(1) 持続的な活動を目指した組織づくりや事業計画策定の支援、また、その実現のための専門家の紹介や派遣、その他の支援・助成制度についてのアドバイス等を行います。

(2) 通常枠は1団体あたり100万円、地域農業連携枠は1団体あたり150万円を上限として助成を行います。

※助成金は採択決定後に一括して支払うのではなく、申請された事業や活動等の計画に基づき、当財団と協議を行いながら、承認した費用について限度額の範囲内で都度精算払いとします。

※申請された事業・活動等の実施において直接必要な費用とします。直接関連性のない経費は対象外となります。

※申請団体の維持・運営のための費用、経常的な人件費・家賃、食費・接待費などは対象外です。

■申請方法

下記の当財団ホームページより募集要項および申請に必要な書類をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、添付書類とともに申請先メールアドレス宛てにメールにて送付ください。

【ホームページ URL】

<https://www.hamanasu.or.jp/info/details/2023.html>

【送付先メールアドレス】

shinsei@hamanasu.or.jp

■選考方法

提出書類の確認後、申請内容の詳細についてヒアリングを行い（2023年6～7月実施予定）その後、外部有識者による審査委員会（2023年8月実施予定）にて選考します。
※ヒアリングは電話、インターネット、訪問等により実施します。申請締切後のスケジュールは変更となる場合もあります。

【お問い合わせ】

公益財団法人はまなす財団
担当：根津／小倉／大関／眞田
TEL：011-205-5011（平日 9:00～17:00）
email：shinsei@hamanasu.or.jp

【6】関係人口ポータルサイト note「DOORS,hokkaido」のご紹介！

「DOORS,hokkaido」では、北海道内の各地域との新たな「かかわり方」を見つけられる note として、北海道の「関係人口」情報を発信しています。

地域おこし協力隊の募集情報や募集中のイベント情報などについて、掲載が可能です。掲載情報について、随時募集をしておりますので、掲載を希望する場合は、下記までお問い合わせください。

○「DOORS,hokkaido」URL

https://note.com/doors_hokkaido

○掲載情報

次のとおり分類しております。

- ・ [体験する] 現在募集中のイベント情報、コワーキングスペース、交流体験情報など
- ・ [応援する・仲間になる] 地域おこし協力隊募集、ふるさと納税募集情報など
- ・ [関わる] 地域の課題、ボランティア募集、関係案内所情報など

○お問い合わせ先：

北海道総合政策部地域創生局地域戦略課地域創生係
011-204-5131

【7】外国人に日本の食文化・食体験の魅力を伝える「商品」を大募集！

北海道農政事務所より、農林水産省のプロジェクトについてお知らせがございましたので、興味のある方はぜひ応募してみてください！

農林水産省は、訪日外国人が帰国後も日本の食文化・食体験を楽しめるような、またその食品を楽しんだ外国人の訪日意欲を増加させるような、地域の食文化・食体験を伝える「商品」を募集・認定し、越境EC（インターネット通販サイトを通じて商品やサービスを海外に販売すること）による輸出商品化を支援するプロジェクトを開始します。

みなさまのご応募をお待ちしています。

応募方法等、詳細は以下よりご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/230427.html>

【8】インバウンド需要回復に向けて頑張る農山漁村の取組を大募集！

北海道農政事務所より、インバウンド需要回復に向けて頑張る農山漁村の取組募集についてお知らせがございましたので、興味のある方はぜひ応募してみてください！

